委託訓練カリキュラム

訓練期間令和6年4月令和8年3月訓練目標厚生労働大仕上がり像言語聴覚士の後に訓練	日31日(24か月) 田指定の言語聴覚士養成課程のカリキュラ 資格(国家資格)を有する専門的な人材としてとは、コミュニケーション障がいを持つ方へにおいて、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目	して、医療・福祉・保健の リハビリを行うなっこれらの を対象にとなる。これら一連を で対象にとなる。これら一連を 医学の発展・本質・倫 と学の発展・本質・倫 の経疾患、神経疾患の のののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのでのである。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	もし、そと連携
訓練目標 厚生労働大 付上がり像 言語・ 言語後で 正語・ 日上がり像 こ言語後で 日上がり像 こ言語後で 日本機 日本機 日本機<	日31日(24か月) 田指定の言語聴覚士養成課程のカリキュラ 資格(国家資格)を有する専門的な人材としてとは、コミュニケーション障がいを持つ方へにおいて、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目	職務・仕事 あムを中心に、座学での こて、医療・保健の ことを対して、医療・行象を対して、医力にとなる。これに、一方のを対して、医学の発展・体験を対した。これによる。これによる。これによる。これによる。これによる。これによる。これによる。これによりには、一般を対して、医学の発展・体験を対して、医学の発展・体験を対した。これによりには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の知識と実践に即した言語療法にかかる技術や知識を習得すの現場において正職員として就職して活躍できる人材。 事者である。障がいのメカニズムを知る為に検査や評価を実施にり添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と座学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で料目の内容 科目の内容 理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハピリテーション、耳鼻咽喉生 カニス ム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 り理解 に理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	る。 し連あ 時 112 184 28
訓練目標 早生労働大 付上がり像 言語聴じま 言語(こ働) 日本 前域 DL 形態 基礎医学 講義 臨床歯 言語学 講義 高藤 事業 講義 高藤 事業 講義 高藤 事業 講義 本 事業 事業 本 事業	日31日(24か月) 田指定の言語聴覚士養成課程のカリキュラ 資格(国家資格)を有する専門的な人材としてとは、コミュニケーション障がいを持つ方へにおいて、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目	して、医療・福祉・保健の リハビリを行うなっこれらの を対象にとなる。これら一連を で対象にとなる。これら一連を 医学の発展・本質・倫 と学の発展・本質・倫 の経疾患、神経疾患の のののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのでのである。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	の現場において正職員として就職して活躍できる人材。 事者である。障がいのメカニズムを知る為に検査や評価を実施にり添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と必要や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で料目の内容 科目の内容 は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れて、ム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 は理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ は理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	施し、そ とである。 時間 112 28
 仕上がり像 言語聴覚士 記言語 で	・資格(国家資格)を有する専門的な人材としては、コミュニケーション障がいを持つ方へにおります。 高れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることを 日本	して、医療・福祉・保健の リハビリを行うなっこれらの を対象にとなる。これら一連を で対象にとなる。これら一連を 医学の発展・本質・倫 と学の発展・本質・倫 の経疾患、神経疾患の のののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでは、 ののである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのである。 ののでのでのである。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	の現場において正職員として就職して活躍できる人材。 事者である。障がいのメカニズムを知る為に検査や評価を実施にり添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と必要や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で料目の内容 科目の内容 は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れて、ム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 は理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ は理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	施し、そ とである。 時間 112 28
記録 記録 記録 記録 記録 記録 記録 記録	とは、コミュニケーション障がいを持つ方へいた。 や指導支援を行っていく。忘れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力も求められることで、コミュニケーション能力を表現学、特別のよりには、解析のは、対しては、アイトのではないないないないないればればればればればればればればればればればればればればれば	リハビリを行う医療従事にとが、対象ら一連をかったが、対象ら一連をかったとなる。これら一連ををとなる。これら一連ををとなる。これら一連ををとれる。これら一連を・本質・倫 一般の発展・本質・倫 一般の発展・本質・倫 一般の発展・本質・倫 一般の発展・本質・倫 「中級本体のののでは、表別でのできる。これら一連をが、対象に、本質・倫 「中級本体のののできる。これらいでは、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象に	事者である。障がいのメカニズムを知る為に検査や評価を実施り添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と必定学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で料目の内容 科目の内容 は、い見疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉と対ニス、ム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 と野及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織の理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	上連携である。 時間 112 184 28
訓練概要 の後に働く 前域 DL 形態 基礎医学 講義 臨床 講義 職床 講義 市場 事業 心 言語学 講義 市場 事業 本 書業 大語学 本 本 事業 大語 本 本 事業 本 <td< td=""><td>や指導支援を行っていく。忘れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目 医学総論、解剖学、生理学、病理学 内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、神経系構造・機能・病態 神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法 言語学</td><td>ことが、対象を 対象をとなる。これら一連を をとなる。これら一連を 医学の発展・本質・ 医学の発展・本質・ の経疾患、 のの経疾患の ののとで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので、 のでで、 ので</td><td>り添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と 座学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で 科目の内容 理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れば、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ</td><td>上連携である。 時間 112 184 28</td></td<>	や指導支援を行っていく。忘れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目 医学総論、解剖学、生理学、病理学 内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、神経系構造・機能・病態 神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法 言語学	ことが、対象を 対象をとなる。これら一連を をとなる。これら一連を 医学の発展・本質・ 医学の発展・本質・ の経疾患、 のの経疾患の ののとで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので、 のでで、 ので	り添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と 座学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で 科目の内容 理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れば、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	上連携である。 時間 112 184 28
訓練概要 の後に個く 領域 DL 形態 基礎医学 講義 臨床 講義 職床 講義 心 言医 心 言語学 市 計議 市 計議 市 計議 市 計議 市 計議 市 計議 日 計議 日 日 日 <td>や指導支援を行っていく。忘れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目 医学総論、解剖学、生理学、病理学 内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、神経系構造・機能・病態 神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法 言語学</td> <td>ことが、対象を 対象をとなる。これら一連を をとなる。これら一連を 医学の発展・本質・ 医学の発展・本質・ の経疾患、 のの経疾患の ののとで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので、 のでで、 ので</td> <td>り添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と 座学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で 科目の内容 理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れば、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ</td> <td>上連携である。 時間 112 184 28</td>	や指導支援を行っていく。忘れてはならないで、コミュニケーション能力も求められることを 科 目 医学総論、解剖学、生理学、病理学 内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、神経系構造・機能・病態 神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法 言語学	ことが、対象を 対象をとなる。これら一連を をとなる。これら一連を 医学の発展・本質・ 医学の発展・本質・ の経疾患、 のの経疾患の ののとで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので、 のでで、 ので	り添う」という心のサポートである。医師や看護師など多職種と 座学や演習を通して身に着けた言語聴覚士を養成する訓練で 科目の内容 理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉性が上れば、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	上連携である。 時間 112 184 28
基礎医学 講	医学総論、解剖学、生理学、病理学 内科学、小児科学、精神医学、リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法 言語学	一般内科の臨床疾患 科疾患、神経疾患発: 口腔領域の解剖及び 呼吸器機能·疾患の記 の基本構造と病態の 心理臨床的援助方法 の適切な理解と活用	福理、ヒトの構造機能、疾患の成り立ち は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉 生かニズム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 の理解 は理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	112 184 28
臨床医学 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講 講	内科学、小児科学、精神医学、 リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、 臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、 聴覚系構造・機能・病態、 神経系構造・機能・病態 神経系構造・機能・病態 コート・病態 コート・病態を コート・の理学、生涯発達心理学、 学習・認知心理学、心理測定法 コート・高語学	一般内科の臨床疾患 科疾患、神経疾患発: 口腔領域の解剖及び 呼吸器機能·疾患の記 の基本構造と病態の 心理臨床的援助方法 の適切な理解と活用	は、小児疾患、精神障害、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉 生がニス、ム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 の理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	184
臨床歯科学 講義 講義 講義 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書	リハビリテーション医学、耳鼻咽喉科学、 臨床神経学、形成外科学 臨床歯科医学・口腔外科学 呼吸発声発語系構造・機能・病態、 聴覚系構造・機能・病態、 神経系構造・機能・病態 臨床心理学、生涯発達心理学、 学習・認知心理学、心理測定法	科疾患、神経疾患発生 口腔領域の解剖及び 呼吸器機能·疾患の部の基本構造と病態の 心理臨床的援助方法 の適切な理解と活用	生幼ニズム、形態機能喪失再建術 が生理・病態 診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 ・理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	28
音声·言語·	呼吸発声発語系構造·機能·病態、 聴覚系構造·機能·病態、 神経系構造·機能·病態 臨床心理学、生涯発達心理学、 学習·認知心理学、心理測定法	呼吸器機能·疾患の記 の基本構造と病態の 心理臨床的援助方法 の適切な理解と活用	診断及び治療法、聴覚系機能・構造・病態の概要、神経組織 理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	
 聴覚医学 心理学 請義 音声学 音響学 言語発達学 講義 社会福祉・教育 書語聴覚 障害学総論 失語・ 共語・ 	聴覚系構造·機能·病態、神経系構造·機能·病態 臨床心理学、生涯発達心理学、 学習·認知心理学、心理測定法 言語学	の基本構造と病態の 心理臨床的援助方法 の適切な理解と活用	理解 と理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ	84
言語学 講 講 音声学 講 音響学 講 言語発達学 講 社会福祉・教育 言語聴覚 障害学総論 失語・	学習·認知心理学、心理測定法 言語学	の適切な理解と活用		
音声学 講		ことばの背景に潜む規	心理臨床的援助方法理解、医療臨床的視点の人間発達、行動や思考理解、データ の適切な理解と活用	
音響学 講義 言語発達学 講義 社会福祉·教育 講義 言語聴覚 障害学総論 失語·			ことばの背景に潜む規則や制約	
音響学 講義 言語発達学 講義 社会福祉·教育 講義 言語聴覚 障害学総論 失語·	, / 			30
言語発達学 講義 社会福祉·教育 講義 言語聴覚 障害学総論 〇 講義 実際		音の物理解析、音声生成原理、音の心理物理学 5 5		56
社会福祉·教育 講義 言語聴覚 障害学総論 〇 講義 演習				28
言語聴覚 障害学総論 〇 講義 演習	言語発達学	言葉の獲得幼ニズムと発達の道筋		
障害学総論 j 演習 失語・	社会保障制度、関係法規、 リハビリテーション概論、理学療法概論、 作業療法概論、社会福祉・教育概論	社会保障の機能役割、言語聴覚士法他職種法規理解、リハビリテーション理念と対象、理学作業療法の概要、障害当事者と関わる技術の実際		
		言語聴覚療法の流れ、検査の成り立ち理解と適切な実施、言語聴覚障害の評価・診断		168
同久脳饭肥降百十	失語症 I ~Ⅳ、 高次脳機能障害 I ~ Ⅱ	失語症•高次脳機能障害理解と評価·診断·訓練法		168
言語発達障害学講義	言語発達障害 I ~VI	様々な言語発達の概要・評価・支援		168
発声発語· 嚥下障害学 講義	音声障害、構音障害 I ~Ⅳ、 諫 嚥下障害 I ~ II、構音·嚥下障害学、 吃音	発声機能障害とリハビリテーション、ディサースリアと器質・機能性構音障害、摂食嚥下障害 理解とリハビリテーション、吃音の問題の理解と対応		252
聴覚障害学講義	小児聴覚障害 I ~ II 、 成人聴覚障害 I ~ III 、 補聴器·人工内耳、視覚聴覚二重障害	新生児・乳幼児の聴覚障害と療育、「聞こえ」のしくみ理解と支援、補聴援助、二重 障害の理解、拡大・代替コミュニケーション		196
臨床実習 実習	。 □ 臨床実習 I ~ II	全体像を把握し、様々なコミュニケーション障害の症状評価に基づいた訓練計画を立案する		480
講義	働くことの基本ルール	働くことの基本ルール		3
その他の講座 講義	安全衛生	安全衛生		
講義 国家試験対策 国家試験対策			60	
講 就職支揮 講	キャリア形成論	キャリア形成の考え方		10
就職支援演習	! キャリアカウンセリング	面接指導、対人スキル向上 10		
			訓練時間総合計 2,358	 時間

訓練コース内容

がいた。						
識別コード	24L0412	訓練コース番号	5-06-27-207-05-0086			
訓練科名	長期高度人材育成コース 言語聴覚士養成コース(2年)					
訓練期間	令和6年4月1日(月)~令和8年3月31日(火)					
訓練実施校名	大阪医専					
所在地	大阪市北区大淀中1丁目10-3					
電話番号	06-6452-0110	受付時間	10:00~20:00			
事前説明会日時	2月8日(木) 13:30~15:00					
	2月13日(火) 10:30~12:00					
	2月16日(金) 13:30~15:00					
	2月24日(土) 10:30~12:00					
	2月24日(土) 13:30~15:00					
	2月28日(水) 10:30~12:00					
選考試験日	3月12日(火)					
試験科目	適性診断(マークシート方式)・面接試験					
入校に必要な 最終学歴	下記いずれかに該当する人 ・4年制大学卒業者 ・高度専門士の称号取得者					
最寄り駅	JR線 大阪駅 (徒歩9分・距離0.7km)					
	阪急線 大阪梅田駅 (徒歩9分・距離O.7km)					
	阪神線 大阪梅田駅 (徒歩9分・距離O. 7km)					
	Osaka Metro 御堂筋線 梅田駅 (徒歩9分•距離0.7km)					
備考						

【最寄り駅からの地図】

